

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)

【公表番号】特表 2013-509772 (P2013-509772A)

【公表日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2013-013

【出願番号】特願 2012-535860 (P2012-535860)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/28 (2009.01)

H 0 4 W 56/00 (2009.01)

H 0 4 W 92/20 (2009.01)

H 0 4 W 28/16 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 2 3 2

H 0 4 Q 7/00 4 6 1

H 0 4 Q 7/00 6 9 2

H 0 4 Q 7/00 2 8 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 8 月 8 日 (2014.8.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セル (101、201) が基地局によって生成された無線ビーム (102、104、106、108、110、112、202、204、206、208、210、212) によって照射されるセルラ遠隔通信ネットワークのサービス品質を改善する方法であって、各基地局 (100、120) は、異なる無線ビームを形成することによって関連するセルの異なるエリア (103、105、203、205) を異なる時に照射する手段を含み、第 1 基地局 (100) と少なくとも 1 つの他の基地局 (120) との間の無線干渉を制限するために、前記第 1 基地局 (100) によって生成される無線ビーム (104、106) の第 1 シーケンスを前記少なくとも 1 つの他の基地局 (120) によって生成される無線ビーム (204、206) の少なくとも 1 つの他のシーケンスと同期化するステップを含む方法において、

前記第 1 基地局および前記少なくとも 1 つの他の基地局は、基地局の間の無線干渉のレベルに応じて、

無線ビームの固定された所定のシーケンス、

無線ビームの動的に変更されるシーケンス、

無線ビームの利用される無線搬送波帯域幅の分数のシーケンス、

という無線ビーム・シーケンスのうちの 1 つを実施することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 1 基地局の無線ビーム・シーケンス (104、106) の前記少なくとも 1 つの他の基地局の無線ビーム・シーケンス (204、206) との前記同期化は、前記第 1 基地局 (100) と前記少なくとも 1 つの他の基地局 (120) との両方について、所定のスケジュールおよびパターンに従う無線ビーム生成の所定のシーケンスに従うステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記所定の無線ビーム・スケジュールおよびパターンは、前記第 1 基地局（100）および／または前記少なくとも 1 つの他の基地局（120）によって受信されたサービス品質レポートに応じて変更される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記サービス品質レポートは、前記第 1 基地局（100）、前記少なくとも 1 つの他の基地局（120）、および／またはモバイル端末によって生成される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 基地局（100）および前記少なくとも 1 つの他の基地局（120）は、調整されたマルチサイト MIMO 通信を実施するために、モバイル端末からの受信された通信をお互いへ送信する、請求項 2、3、または 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 基地局（100）および／または前記少なくとも 1 つの他の基地局（120）によって形成される無線ビーム（1 つまたは複数）の個数および／またはパターンは、前記第 1 基地局（100）と前記少なくとも 1 つの他の基地局（120）との間の無線干渉のレベルに応じて変更される、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記無線ビームは、迎角において調整される、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

セル（101、201）が基地局によって生成された無線ビーム（102、104、106、108、110、112、202、204、206、208、210、212）によって照射されるセルラ遠隔通信ネットワークの基地局であって、各基地局（100、120）は、異なる無線ビームを形成することによって関連するセルの異なるエリア（103、105、203、205）を異なる時に照射する手段を含む、基地局において、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の方法に従って、少なくとも 1 つの他の基地局（120）とのその無線干渉を制限するために、無線ビーム（104、106）の第 1 シーケンスを前記少なくとも 1 つの他の基地局（120）によって生成される無線ビーム（204、206）の少なくとも 1 つの他のシーケンスと同期化する手段を含むことを特徴とする、基地局。

【請求項 9】

基地局によって生成された無線ビーム（102、104、106、108、110、112、202、204、206、208、210、212）によって照射されるセル（101、201）を含むセルラ遠隔通信ネットワークであって、各基地局（100、120）は、異なる無線ビームを形成することによって関連するセルの異なるエリア（103、105、203、205）を異なる時に照射する手段を含む、セルラ遠隔通信ネットワークにおいて、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の方法に従って、第 1 基地局（100）と少なくとも 1 つの他の基地局（120）との間の無線干渉を制限するために、前記第 1 基地局（100）によって生成される無線ビーム（104、106）の第 1 シーケンスを前記少なくとも 1 つの他の基地局（120）によって生成される無線ビーム（204、206）の少なくとも 1 つの他のシーケンスと同期化する手段を含むことを特徴とする、セルラ遠隔通信ネットワーク。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

ビーム・スイッチング・シーケンスを、サブバンド（すなわち、利用される無線搬送波

帯域幅の分数)によって形成することもできる。通常、サブバンドの個数は、伝搬、チャネル応答によって決定され、あるいは、標準規格によって指定される。例を、4つのサブバンドの場合について下に示す。